こんにちは！リショイです。
最近は本当に暑いですね！ここまで劇と涼しかったので、やっと日本の夏がやってきたなという気持ちです。…マスク暑い。
ということで、少しでも涼やかな気持ちになれるよう、今回のオススメ本は梶井基次郎の梅檸檬にさせてもらいました！本当に涼やかで美しいお話なので、課題図書に選ぶのもオススメですよ！（あと短い!!!）
また、今回も表紙を描かせて頂きました！私としては白いワンピースに涼やかなイメージがあるのですが、皆さんはいかがでしょうか？爽やかさを感じて頂ければ嬉しいです。（背景の暑苦しさには目をつむって下さい）
ではこんな所で、次号もよろしくお願いします！

YAボランティア募集中!!!

まってるよ

・どんな活動をしているの？
・どうしたら参加できるの？

少しでも興味のある方は中央図書館までお気軽にお問いあわせください。

まってるよ!! まってます!!

緊急事態宣言の延長でみなさま、本当におつかれさまです。「コロナ疲れ」を少しでもいやすために、楽しい本を読んでリフレッシュしている、今日この頃です。

（図書館スタッフ）

イベント報告

あなたの推し本教えてください！
～ビブリオバトル～

2021年8月22日(日)にZOOMで開催いたしました。
高校生から大人の方まで初心者からベテランまでの参加で紹介されたどの本もステキでした。

チャンプ本（2冊!!）

『50歳になりまして』
光浦靖子／著，文藝春秋

『父と娘の認知症日記』
長谷川和夫，南高まり／著，中央法規出版

以下、発表本

『それでも僕は夢を見る』
水野敬也／作，鉄拳／画，文響社

『平安女子の楽しい！生活』
川村裕子／著，岩波書店

『生きることと考えること』
森有正／著，講談社

『幽霊の歴史文化学』
小山聡子／編，松本健太郎／編
思文閣出版

YA広報誌『ポルターダ No.60』
2021年9月発行
編集：YAボランティアさん（リショイさん，ありさん）
・実習にいらした先生方
稲城市立中央図書館（向陽台4-6-18）
Tel：042-378-7111 FAX：042-378-7162
Mail：inagilib@library.inagi.tokyo.jp
HP：https://www.library.inagi.tokyo.jp

おすすめBOOK

たくさん読むと、いいことあるよ！これ本当!!

檸檬（れもん）

梶井 基次郎

ボランティアさんのおすすめBOOK

（あらすじ）
ある日憂鬱な思いを抱え町を歩く青年は、お気に入りの果物屋で檸檬を見つける。なんとも鮮やかなそれを買った青年は、そのまま本屋へ行き、積み上げた本の上に檸檬を置いて立ち去る。

憂鬱な気持ちや現状に対する閉そく感と、それを吹きとばすさわやかな檸檬とのコントラストが素晴らしい作品です。また、1つ1つの言葉が美しく、色彩豊かで情景が目に浮かんでくるようです。名作と呼ばれる作品の中でもかなり読みやすい文章であり、またとても短い小説なので、ぜひ一読してみて下さい。読んだ後の爽やかな満足感に、きっとやみつきになります。　リンタイ

ボランティアさんのおすすめBOOK

『アヴェ・マリアのヴァイオリン』

作：香川宜子

14歳の少女あすかは、楽器店で不思議な音色を奏でる1本のヴァイオリンと出会う。そのヴァイオリンは、かつてはユダヤ人の少女リンナが持っていたものだった。リンナは強制収容所で囚人音楽隊として生き抜いた少女だった。どんな過酷な状況でも、家族や仲間を思いやる気持ち、音楽への情熱など、リンナの思いは1本のヴァイオリンを通して時代を超えて日本にいるあすかへと届いていく。

この本は、私たちと同じで現代の日本を生きるあすかや、私たちに馴染みのある音楽を通して戦争について知ることができるので、戦争の話に近寄り難いイメージを感じている人も読みやすいと思います。ぜひ読んでみてください！

ありさ

『モモ』

ミヒャエル・エンデ

モモに話を聞いてもらうと、硬くなった心が柔らかくなり悩みが消えていく……。

不思議な力をもつモモが灰色の男たちに奪われた時間を取り戻そうと奮闘します。

時間どろぼうとぬすまれた時間を人間に返してくれた女の子の不思議な物語です。

ぜひ、読んでみてください。

センセーのおすすめBOOK

トラジカンで研修しました！

本をよむってたのしい！

ステキね。モモ

良い。

すばらしい。ポワロ

ABC殺人事件

アガサ＝クリスティ

アガサ＝クリスティは たくさんの推理小説を書いたイギリスの作家です。
クリスティの小説に数多、登場するのが名探偵エルキュール ポワロです。ポワロのトレードマークはりっぱな口ひげ。この本はポワロが活やくする1冊です。

最初に、Aの文字から始まる町（アンドーバー）でAの頭文字の婦人が殺されます。そして次にBの町（ベクスヒル）でBの頭文字の人が殺され、続いてCが!!

アルファベット順に続、この連続殺人をポワロは止めることができるでしょうか。相棒のヘイスティングスとこの謎に挑みます!

センセーのおすすめBOOK

トラジカンで研修しました！

ショート・ショートの書き方講座に参加した方の作品です。

開催：2020年9月13日
講師：田丸 雅智先生

この会に参加された方の作品をご紹介します。
「私も書いてみたいな」と思った方はこちらも読んでみてください。
『こども小説教室　きみだけのオリジナル小説ができる！』
田丸雅智／著　ポプラ社
Y901.39

「水彩絵の具持参の平和」　マルタマル

絵を描いている。油絵やクロッキーではなく、子どもの残した水彩絵の具セットを使っている。今日も公園で花を描いていたら人が集まってきた。皆、絵筆を持っていて、やはり何か描こうとしている。しかも英語やドイツ語さらに中国語、他、耳できいてもよくわからない言葉を話している。ファッションからすると、アラブの人やイスラム教徒もいるようだ。
自分の画用紙をはみ出し、他の人の紙に色を塗っている人もいる。どんな絵ができているのか。
「ああ、平和だなあ。」

ショート・ショートの作品まだまだございます。